

船舶事故調査報告書

平成30年5月23日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年4月12日 16時00分ごろ
発生場所	中津港 中津港北防波堤灯台から真方位275°450m付近 (概位 北緯33°37.1′ 東経131°14.7′)
事故の概要	作業船弘栄丸は、航行中、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年10月27日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	作業船 弘栄丸、5トン未満（長さ7.41m） 281-32559香川、岡崎産業有限会社
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	プロペラに欠損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 低潮時
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、中津港に着岸中の砂利運搬船から 下ろされた後、港湾調査作業の目的で同港を航行していたところ、浅 瀬に乗り揚げた。 本船は、自力で離礁し、中津港に着岸中の砂利運搬船まで航行した 後、同船に引き上げられた。 本船の喫水は、船首約0.3m、船尾約1.0mであった。 船長は、中津港に浅瀬があることを知っていたものの、発航前に潮 汐を確認していなかった。
分析	本船は、中津港を航行中、船長が、発航前に潮汐を確認していなか ったことから、低潮時に浅瀬付近を航行し、浅瀬に乗り揚げたものと 考えられる。
原因	本事故は、本船が、中津港を航行中、船長が、発航前に潮汐を確認 していなかったため、低潮時に浅瀬付近を航行し、浅瀬に乗り揚げたも のと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え られる。 ・事前に航行する海域の水深及び潮汐を確認すること。